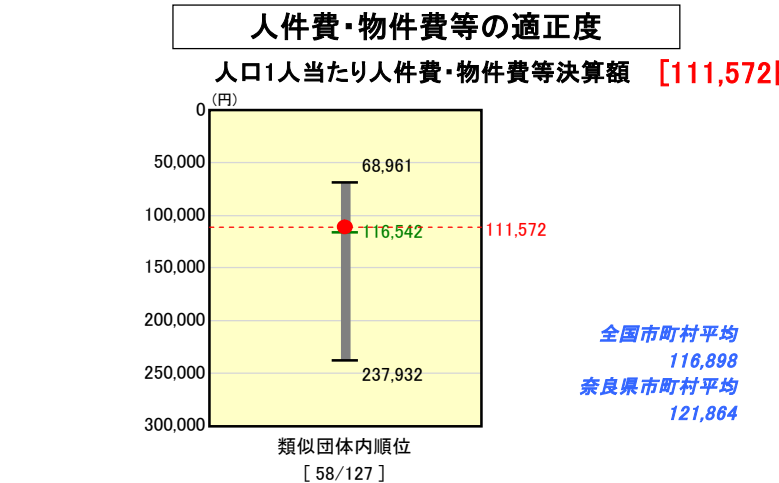
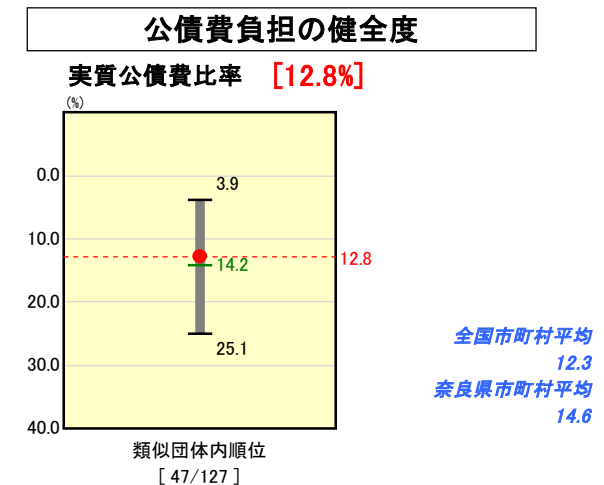
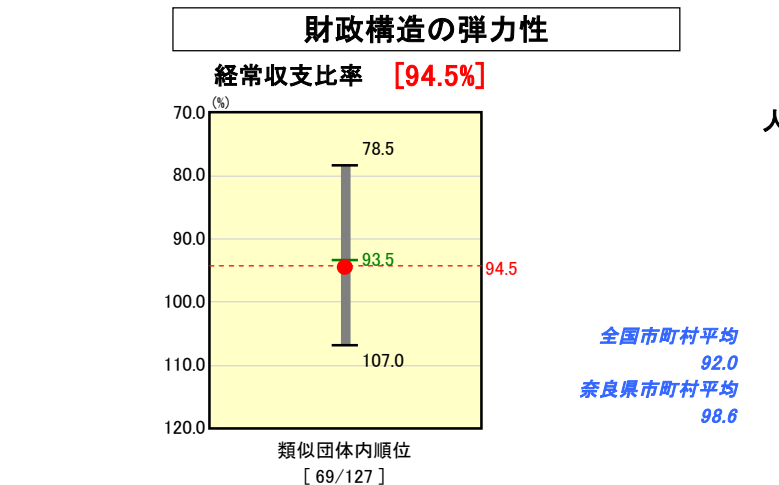
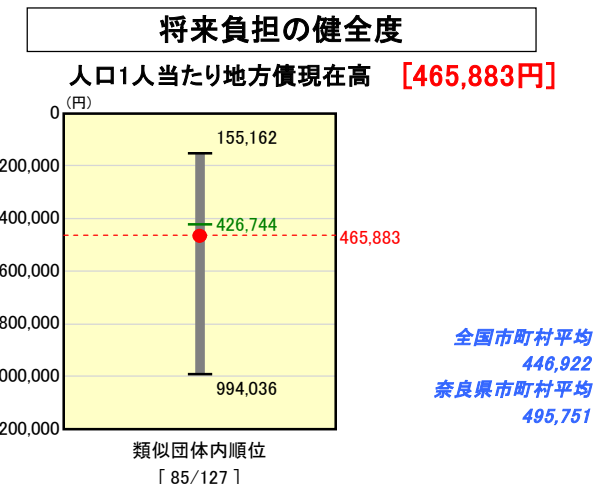
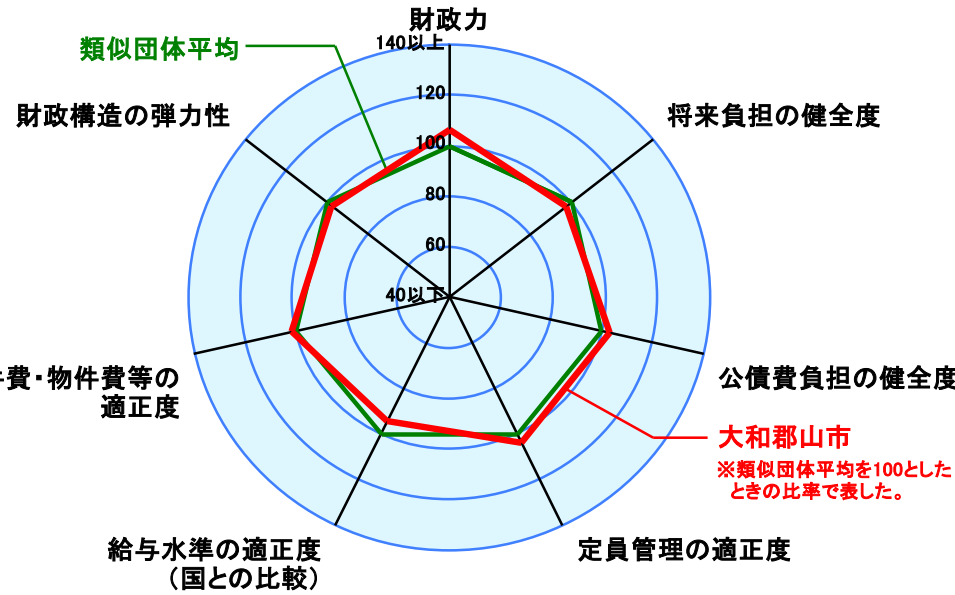
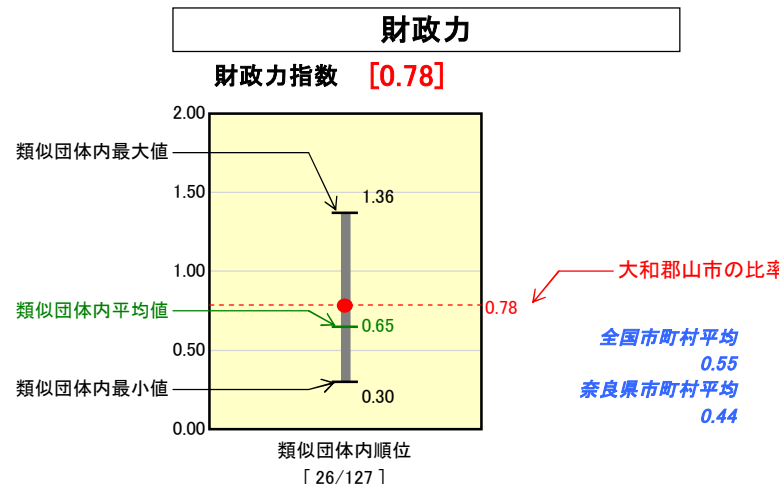


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

奈良県 大和郡山市

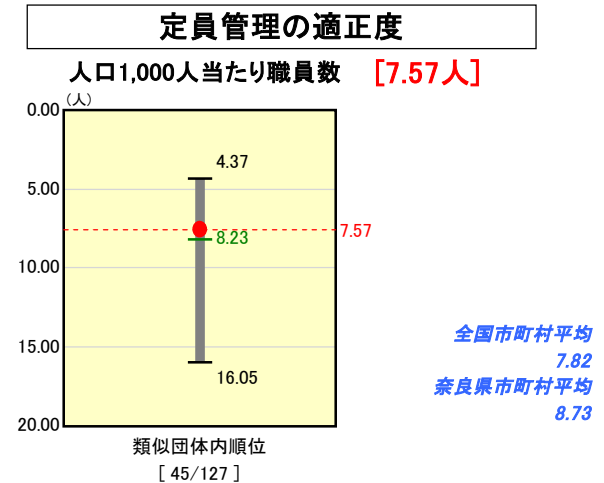
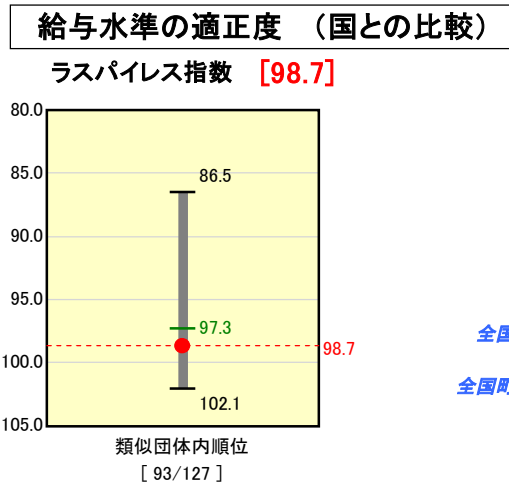
人口	91,154人	(H20.3.31現在)
面積	42.68	km ²
歳入総額	27,879,646	千円
歳出総額	28,229,498	千円
実質収支	-439,917	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数 : 市南部地域に工業団地を有しているため、県市町村平均、類似団体平均よりは上回っているが、今後も各種事務事業の見直しや行財政改革による歳出削減、また地方税の徴収強化等の取り組みを通じて財政基盤の強化に努める。

経常収支比率 : 県市町村平均に比べ良好な数値を示しているが、類似団体平均には及ばない、昨年度より若干の改善がみられるものの、近年は福祉関係経費等の増加により悪化傾向にある。ひきつづき行財政改革への取り組みを通じ義務的経費の削減に努める。

ラスパイレス指数 : 類似団体平均と比べて1.4ポイント上回っており、新規採用の抑制による職員平均年齢の上昇等が原因と考えられる。今後も引き続きより一層の給与の適正化に取り組む。

実質公債費比率 : 県市町村平均及び類似団体平均を下回る数値を示しているが、今後も適正な管理に努める。

人口1,000人当たり職員数 : 過去からの新規採用抑制策により、県市町村平均、類似団体平均より低い数値である。今後も、行財政改革への取り組みと歩調を合わせながら適正な定員管理に努める。